

鉄道駅における車による送迎行動の特性分析

名古屋工業大学 学生員 ○三好 達士
 名古屋工業大学 学生員 竹内 聖彦
 名古屋工業大学 正会員 藤田 素弘
 名古屋工業大学 正会員 松井 寛

1.はじめに

自動車保有世帯の増加、市街地の拡大等の理由により、鉄道駅までの車による日常的な送迎行動（＝キス＆ライド）が急増し、駅周辺の駐車問題など新たな社会問題を引き起こしている。本研究はこのようなキス＆ライド（以下K&Rと略す）の実態と利用意識についてアンケートによって調査した結果を報告する。

2.調査の概要

調査駅は、中京圏パーソントリップデータでK&R利用者が多い高蔵寺・春日井・一宮・藤ヶ丘・江南・赤池の6駅で、平成7年7月5～7日の午後6:00～9:00にかけて、帰りにK&Rを利用している人に対しアンケート調査を実施した。

このアンケートの調査目的は、パーソントリップ調査では分析不可能な点を補う目的で行ったものである。アンケート回収結果は下表の通りである

	高蔵寺	春日井	一宮	藤ヶ丘	赤池	江南	総計
配布	500	305	505	300	300	90	2000
回収	182	122	134	98	98	24	658

3.K&R利用者の特性分析

図-1は、K&R利用者の自宅から利用駅までの距離分布を示したものである。K&R利用者は駅から9kmまでが多く、特に、3km未満の利用者がかなり多い。駅ごとに多少の違いはあったものの、どの駅でも3km未満の利用者は約40～60%を占めている。このことより、全体的にみて比較的近距離での利用が多いといえよう。この結果から駅まで歩くのには遠く、公共交通機関を利用するのには近い距離での利用者が多いと思われる。

図-2はK&R利用者の年齢・性別の関係を示したものである。この図より、男性は年齢と共に利用者数は増加しており、女性は10代・20代の女性が大半

を占めている。男女の利用者層の違いに着目し、今後性別で考えるものとする。また送迎別にも考えていくものとする。

図-3は送迎者と被送迎者との関係を示してある。これによると送迎共に男性は妻（75%・76%）に

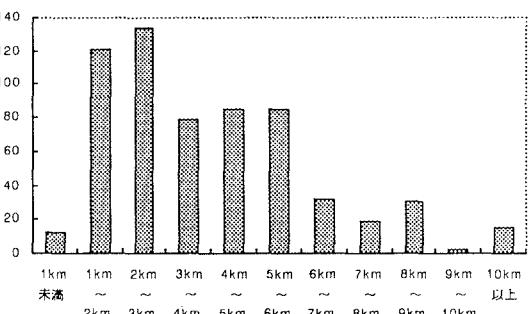


図-1 家から駅までの距離

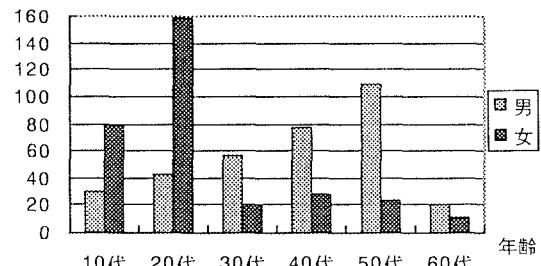


図-2 年齢と性別のクロス集計

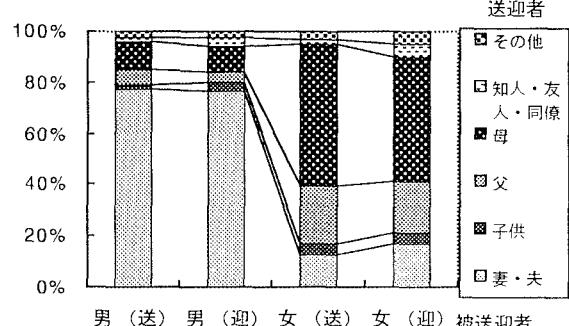


図-3 送迎者と被送迎者

送ってもらい、女性は両親（78%・69%）に送ってもらっている形態が多くみられる。

又、送・迎共に被送者は家族がほとんどであり、被送者の割合も送・迎で大きな変化は見られないことより、家族の中で送迎者の役割は決まっていると思われる。

図一4は送者が駅に被送者を送ってから何処へ行くのかを示しており、男女（被送者）共に送者が自宅へ帰る割合（男86%・女71%）の高いことがわかる。つまり、送者が何らかの用事のついでに送っているのではなく、送者が時間に余裕を持っている形態のK&R利用者が多く見られる。

図一3・4より、被送者が、男性の場合の送者（妻）は、専業主婦あるいは出勤時間の遅い職業、又は勤務先が近くであると推察され、女性の場合も同様に推察される。

図一5はK&R利用理由を示したものである。図により、公共交通機関への不満（理由3～7まではある種公共交通機関への不満となっている）・天候の問題（理由10）が多い。つまりK&R利用者の多くは何らかの公共交通機関への不満を持っており、雨が降ったときだけ利用するという人も多くいると思われる。

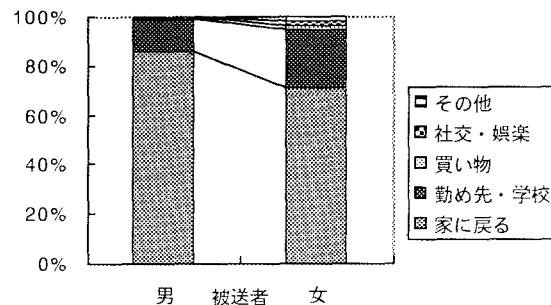
又、男女の大きな違いとして夜道が危険だから（理由8）というのが女性に見られる。これは女性利用者が10代・20代に多いことの理由の一つであると思われる。

4.まとめ

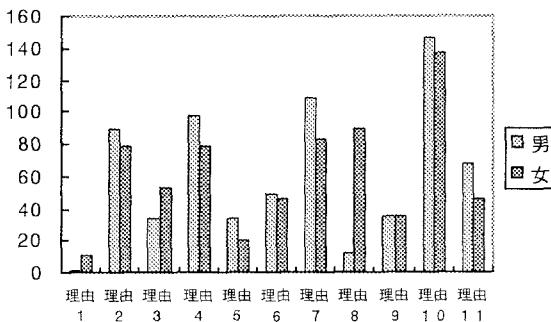
K&R男性利用者は、妻（専業主婦が多いと思われる）に送迎をしてもらう人が多く、女性利用者は、両親に送迎をしてもらう人が多く見られた。これは、男性の場合は家庭にゆとりができるくるに伴いK&Rを利用、女性の場合は、若い年齢層が多いことより、両親に送迎をする余裕があり、娘に夜道を歩かせたくない親の優しさによりK&Rを利用している人が多いようと思われる。

5.おわりに

今回のアンケート結果より名古屋圏のK&R利用者の実態が見えてきたが、K&R型交通は送迎者に依存する所が大きいため、考えていたよりも複雑であつ



図一4 送者が駅に被送者を送ったその後



理由1：駅の近くを車で通る人がいるので、ついでに乗せてもらう。

理由2：本当は駅まで車で乗っていきたいが、訳があって乗っていけない。

理由3：車をのっていったり、バスを利用すると、費用がかかる。

理由4：バスの本数が少ない。

理由5：終バスに間に合わない・始発が遅すぎる

理由6：利用できるバスなどの交通機関がない

理由7：バスだと時間がかかる

理由8：夜道は危険だから

理由9：自転車だと疲れるから

理由10：天候の問題

理由11：その他

図一5 K&R利用理由

た。今後、より詳細な分析を行いK&Rの実態をつかみ、今後増加するであろうK&Rのより良い利用・導入の方法を考えて行かなければならないだろう。

〈参考文献〉

竹内、藤田、松井：キス＆ライドの利用状況に関する基礎的考察、土木学会第50回年次講演会pp290-291.1995